

【質問への回答】

業務名	令和5年度ごみ減量実践事業企画運営業務
告示日	令和5年5月1日（月）
担当部署名	札幌市環境局環境事業部循環型社会推進課
質 問 内 容	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 230tのごみ削減の算出根拠 ・ 想定している事業に記載されている数量の根拠（目標達成に必要な回数なのか？） ・ フードシェアリングアプリの1500件×600円が具体的に記載されているが想定しているアプリはありますか。ある場合アプリ名をお教えてください。また以前に実施実績があれば加えてお願いいたします。 ・ リユースショップ利用促進で、11,000件の根拠と以前にポイント付与の施策を実行したことがありますでしょうか。ある場合の店舗をお教えてください。 	
<p>【回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本業務は取組による直接的なごみ削減を目指している事業であるため、家庭ごみ全体の収集・処理原価を踏まえ、家庭ごみ全体1トンあたり約50,000円の削減効果を見込むものとし、業務規模11,655,600円（税込）÷50,000円/トン≒230トンと算出した。 （参考：家庭ごみ全体の収集・処理原価は45,548円/トン、令和4年度清掃事業概要より） ・ 想定している事業に記載の数量の根拠は、事業規模や事業ごとのバランスを踏まえ、以下のとおり算出した。なお、以下の事業はあくまで想定であり、必ずしも想定に沿った事業を提案する必要はなく、回数についても同様である。 <p>(1) <u>フードシェアリングアプリ</u></p> <p>月10回の引取りで1月あたり7.5kg（750g×10回）、1,500件の助成を行い、半分の市民が1年間利用を継続した場合、年間で<u>約73t</u>の食品ロス削減ができる。 ※（7.5kg×1ヵ月×1,500件 + 7.5kg×11ヵ月×750件）÷1,000 ※ 本事業の実施事例はない。連携するアプリは札幌市で一定の実績がある等、実際に活用が可能なものを想定している。</p> <p>(2) <u>フードドライブ</u></p> <p>食品の提供が100kg/回あった場合、3回の実施で<u>0.3t</u>の食品ロスを削減できる。 ※100kg×3回÷1,000</p> <p>(3) <u>冷蔵庫整理セミナー</u></p> <p>家庭から出る1世帯（4人家族想定）食品ロス量は年間約43.3kg。当該セミナーの受講・視聴世帯の食品ロス量が約半分となり、1世帯あたり22kgの食品ロス削減につながると仮定した場合、<u>約70t</u>の食品ロス削減が期待できる。 ※22kg×30人（セミナー参加者数）×5回+22kg×3,000人（動画視聴回数想定）÷1,000</p> <p>(4) <u>使い捨てプラスチック削減支援</u></p> <p>1店舗あたり100kg（0.05kg×対象2000人）の削減ができた場合、5店舗で<u>0.5t</u>のごみ減量が期待できる。※5店舗×100kg÷1,000</p> <p>(5) <u>出張古着・小型家電無料回収</u></p> <p>1回あたり古着50kg（0.5kg×100人）、小型家電50kg（1kg×50人）の回収があった場合、6回で<u>約0.6t</u>のごみ減量が期待できる。※6回×100kg÷1,000</p> <p>(6) <u>リユースショップ利用促進</u></p> <p>平均7.5kg/件、11,000枚の利用があった場合、<u>約83t</u>のごみを削減できる。 ※本事業の実施事例はない。 各想定事業のごみ削減量 合計：226.3トン ≒ 230トン</p>	